



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 共同印刷株式会社

コード番号 7914 URL <https://www.kyodoprnting.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤森 康彰

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 渡邊 秀典 TEL 03-3817-2101  
グループコーポレート本部長

四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 2020年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	43,869	△9.7	△199	—	274	△66.9	156	△60.7
2020年3月期第2四半期	48,593	5.7	421	343.4	827	56.4	397	446.7

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,762百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 △576百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	18.22	—
2020年3月期第2四半期	45.99	40.62

(注) 2021年3月期第2四半期における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、2019年12月12日に新株予約権付社債5,000百万円を全額満期償還したことにより、2021年3月期第2四半期連結会計期間末日において、潜在株式が存在しないため記載していません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	123,417	61,093	49.4
2020年3月期	124,634	59,764	47.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 60,977百万円 2020年3月期 59,661百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2021年3月期	—	50.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	95,000	△5.8	500	△68.1	1,100	△49.2	600	△60.3	69.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	9,020,000株	2020年3月期	9,020,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	435,058株	2020年3月期	434,985株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	8,584,954株	2020年3月期2Q	8,643,750株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10
3. その他	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う社会経済活動の停滞が長期化していることから、依然として厳しい状況で推移しました。各種政策の効果もあり、個人消費や輸出などに一部持ち直しの動きはみられるものの、企業収益は大幅に減少しており、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

印刷業界におきましても、新型コロナウイルス感染症の拡大によりさまざまな企業・自治体において事業の中止・延期が相次いだことや、生活様式の変化に伴う個人消費の需要変動で一部製品・サービスが減少したことなどから、厳しい経営環境が続きました。

このような状況の中、共同印刷グループは中期経営方針「強みの育成・拡大と、事業基盤の改革に挑戦し、成長を続ける。」に基づいた取り組みを進めております。

情報系事業では、お客さまの潜在的な課題を解決するサービスメニューの提案推進に取り組みました。生活・産業資材系事業では、外出自粛で需要が拡大した食品・日用品向けパッケージやラミネートチューブの受注拡大に取り組みました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高438億6千9百万円（前年同期比9.7%減）、営業損失1億9千9百万円（前年同期は営業利益4億2千1百万円）、経常利益2億7千4百万円（前年同期比66.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億5千6百万円（前年同期比60.7%減）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

## 情報コミュニケーション部門

出版印刷では、デジタルソリューションの提案推進によるデジタルコンテンツの受注拡大や、知育・教育関連分野の受注拡大に取り組みました。コミックスや学習参考書の増加、マンガ関連の付録やノベルティの受注増などはありませんでしたが、定期刊行物が大幅に減少したため、売上高は前年同期を下回りました。

一般商業印刷は、情報誌・カタログが減少したほか、店頭プロモーションの需要減や各種キャンペーンの中止など販促需要の大幅な減少を受け、前年同期を下回りました。

以上の結果、部門全体の売上高は159億6千万円（前年同期比12.9%減）、営業損失は5億1千3百万円（前年同期は営業損失3億8千9百万円）となりました。

## 情報セキュリティ部門

情報セキュリティ部門では、データプリントを核としたBPOの受注拡大をめざし金融機関や官公庁・自治体への提案推進に取り組むとともに、法人決済ソリューション事業の拡大に向け「Bizプリカ」の拡販に注力しました。

ビジネスフォームは、各種試験関係の中止・延期により関連するBPOが減少したことや、取引先企業の施策変更などによりDM類が減少したため、前年同期を下回りました。証券類については、旅客需要の低下による乗車券類の大幅な減少に加え、抽せん券も減少したため、前年同期を下回りました。ICカードは、交通系カードを中心に堅調に推移しました。

以上の結果、部門全体の売上高は131億6千5百万円（前年同期比17.9%減）、営業利益は4億3千6百万円（前年同期比46.6%減）となりました。

## 生活・産業資材部門

紙器は、巣ごもり需要の高まりを受け食品関係が増加しましたが、ティシューカーターの減少などにより前年同期を下回りました。チューブでは、歯磨き向けやハンドクリーム向けが堅調に推移した一方で、外出自粛や天候不順の影響によりUVケア製品向けなどが大幅に減少しました。軟包装は、即席麺の包材などは増加しましたが、業務用包材が減少したことなどから前年並みとなりました。産業資材は、医薬品向けを中心に増加しました。2019年11月より本格稼働を開始したブローボトル事業は順調に推移しております。

以上の結果、部門全体の売上高は134億4千3百万円（前年同期比4.3%増）、営業損失は1億1千5百万円（前年同期は営業損失1億2千3百万円）となりました。

## その他

売上高は、偽造防止関連製品の受注増などはあったものの物流業務が減少したため12億9千8百万円（前年同期比3.2%減）、営業利益は1千2百万円（前年同期比83.1%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産は、前連結会計年度末との比較において以下のとおりになりました。

総資産は1,234億1千7百万円（前連結会計年度末1,246億3千4百万円）となり、12億1千6百万円減少しました。これは主に、投資有価証券が23億7千1百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が37億5千9百万円減少したことによるものです。負債は623億2千3百万円（前連結会計年度末648億6千9百万円）となり、25億4千5百万円減少しました。これは主に、長期借入金が27億9千3百万円、1年内返済予定の長期借入金が12億4百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が31億8百万円、設備関係支払手形及び未払金が26億3千6百万円減少したことによるものです。純資産は、610億9千3百万円（前連結会計年度末597億6千4百万円）となり、13億2千8百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益1億5千6百万円、その他有価証券評価差額金の増加16億8千7百万円と、配当金の支払4億3千2百万円があったことによるものです。

## （キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ3億4千2百万円減少し127億2千8百万円となりました。

## 「営業活動によるキャッシュ・フロー」

当第2四半期連結累計期間において営業活動により得られた資金は、15億9百万円（前年同期比54億7千9百万円減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益5億4千2百万円、減価償却費27億2百万円の計上及び売上債権の減少37億4千6百万円があった一方、仕入債務の減少31億2百万円があったことによるものです。

## 「投資活動によるキャッシュ・フロー」

当第2四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は、51億4千6百万円（前年同期比4億5千7百万円減）となりました。これは主に、固定資産の取得による支出56億4千万円があったことによるものです。

## 「財務活動によるキャッシュ・フロー」

当第2四半期連結累計期間において財務活動により得られた資金は、33億2千4百万円（前年同期は10億8千8百万円の使用）となりました。これは主に、長期借入れによる収入40億円があった一方、配当金の支払4億3千2百万円があったことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年8月26日の「2021年3月期通期業績予想及び配当予想の公表ならびに中期経営計画目標数値取り下げに関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,134	12,770
受取手形及び売掛金	27,301	23,542
商品及び製品	4,412	4,622
仕掛品	2,884	3,288
原材料及び貯蔵品	1,029	910
その他	634	648
貸倒引当金	△59	△51
流動資産合計	49,339	45,731
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	19,947	19,317
機械装置及び運搬具(純額)	14,769	14,904
工具、器具及び備品(純額)	1,183	1,143
土地	14,832	14,816
リース資産(純額)	1,798	1,717
建設仮勘定	3,162	4,133
有形固定資産合計	55,693	56,032
無形固定資産		
のれん	2,003	1,685
ソフトウェア	1,301	1,254
その他	128	140
無形固定資産合計	3,432	3,080
投資その他の資産		
投資有価証券	13,741	16,113
長期貸付金	26	7
退職給付に係る資産	808	859
繰延税金資産	482	540
その他	1,158	1,102
貸倒引当金	△48	△49
投資その他の資産合計	16,168	18,573
固定資産合計	75,295	77,685
資産合計	124,634	123,417

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,049	14,940
1年内返済予定の長期借入金	—	1,204
リース債務	506	523
未払法人税等	722	522
賞与引当金	1,258	1,171
役員賞与引当金	53	30
その他	9,787	6,137
流動負債合計	30,378	24,529
固定負債		
社債	8,000	8,000
長期借入金	15,012	17,806
リース債務	1,115	1,028
繰延税金負債	553	1,249
環境対策引当金	595	588
固定資産解体費用引当金	545	545
役員株式給付引当金	9	9
退職給付に係る負債	6,573	6,478
資産除去債務	50	50
その他	2,034	2,037
固定負債合計	34,491	37,794
負債合計	64,869	62,323
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,510	4,510
資本剰余金	1,766	1,765
利益剰余金	49,477	49,201
自己株式	△1,088	△1,088
株主資本合計	54,665	54,388
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,729	7,417
為替換算調整勘定	△7	△137
退職給付に係る調整累計額	△725	△690
その他の包括利益累計額合計	4,996	6,589
非支配株主持分	103	116
純資産合計	59,764	61,093
負債純資産合計	124,634	123,417

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	48,593	43,869
売上原価	40,252	36,560
売上総利益	8,341	7,309
販売費及び一般管理費	7,919	7,508
営業利益又は営業損失(△)	421	△199
営業外収益		
受取利息	16	4
受取配当金	174	154
物品売却益	128	117
設備賃貸料	41	46
保険配当金	154	147
為替差益	—	21
その他	127	157
営業外収益合計	643	649
営業外費用		
支払利息	72	95
設備賃貸費用	20	19
持分法による投資損失	64	30
為替差損	42	—
その他	37	29
営業外費用合計	237	175
経常利益	827	274
特別利益		
固定資産売却益	17	1
投資有価証券売却益	615	382
環境対策引当金戻入額	—	2
固定資産解体費用引当金戻入額	585	—
その他	1	—
特別利益合計	1,218	386
特別損失		
固定資産処分損	391	105
投資有価証券評価損	70	—
環境対策引当金繰入額	588	3
その他	79	9
特別損失合計	1,130	118
税金等調整前四半期純利益	916	542
法人税等	553	371
四半期純利益	362	170
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△34	14
親会社株主に帰属する四半期純利益	397	156



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	362	170
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△950	1,678
為替換算調整勘定	△3	△130
退職給付に係る調整額	9	35
持分法適用会社に対する持分相当額	4	9
その他の包括利益合計	△938	1,592
四半期包括利益	△576	1,762
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△541	1,749
非支配株主に係る四半期包括利益	△34	13

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	916	542
減価償却費	2,633	2,702
のれん償却額	184	303
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△126	△95
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△9	△7
賞与引当金の増減額 (△は減少)	61	△87
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10	△23
固定資産解体費用引当金の増減額 (△は減少)	△585	△0
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	588	△6
受取利息及び受取配当金	△190	△159
支払利息	72	95
持分法による投資損益 (△は益)	64	30
投資有価証券評価損益 (△は益)	70	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△615	△382
固定資産除売却損益 (△は益)	373	103
売上債権の増減額 (△は増加)	3,241	3,746
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,084	△498
仕入債務の増減額 (△は減少)	△412	△3,102
未払消費税等の増減額 (△は減少)	413	△715
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	0	△0
未払費用の増減額 (△は減少)	△543	△334
その他	1,655	△12
小計	6,700	2,096
利息及び配当金の受取額	195	159
利息の支払額	△72	△95
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	164	△651
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,988	1,509
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△6,562	△5,640
有形及び無形固定資産の売却による収入	115	1
投資有価証券の取得による支出	△11	△8
投資有価証券の売却による収入	604	388
貸付けによる支出	△20	—
貸付金の回収による収入	13	19
その他	257	92
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,603	△5,146
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	—	4,000
長期借入金の返済による支出	—	△2
配当金の支払額	△439	△432
非支配株主への配当金の支払額	—	△1
自己株式の取得による支出	△361	△0
その他	△287	△239
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,088	3,324
現金及び現金同等物に係る換算差額	36	△29
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	332	△342
現金及び現金同等物の期首残高	10,432	13,070
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,764	12,728

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	情報コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 部 門	情報セキ ュ リ ティ 部 門	生活・産業 資材部門	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	18,330	16,027	12,894	47,252	1,341	48,593	—	48,593
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	786	386	197	1,369	4,064	5,434	△5,434	—
計	19,116	16,413	13,091	48,621	5,405	54,027	△5,434	48,593
セグメント利益 又は損失(△)	△389	817	△123	304	76	381	40	421

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、物流事業、保険取扱事業及び不動産管理事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	情報コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 部 門	情報セキ ュ リ ティ 部 門	生活・産業 資材部門	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	15,960	13,165	13,443	42,570	1,298	43,869	—	43,869
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	593	290	131	1,016	3,118	4,135	△4,135	—
計	16,554	13,456	13,575	43,586	4,417	48,004	△4,135	43,869
セグメント利益 又は損失(△)	△513	436	△115	△192	12	△179	△20	△199

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、物流事業、保険取扱事業及び不動産管理事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

3. その他

(公正取引委員会による立ち入り検査について)

当社は、2019年10月8日、日本年金機構の帳票作成業務等の入札に関して独占禁止法違反の疑いがあるとして、公正取引委員会による立ち入り検査を受けました。当社といたしましては、公正取引委員会の調査に全面的に協力してまいります。